



いちよう

発行日 平成29年 2月25日
発行者 小山市立福良小学校長
中島 利雄

閉校式が行われました



市長(設置者代表)あいさつ
福良小学校閉校式



校長から教育長へ校旗返納



ふるさと学習の発表



福良の四季「紬のふるさと」



全校合奏「RPG」

2月19日(日)、本校体育館を会場に閉校式が行われました。当日は、式典に引き続き、閉校記念行事として、児童による「ふるさと学習の発表」「福良の四季」「全校合奏」がそれぞれ行われ、最後に会場の全員で校歌を歌いました。

福良小学校閉校式式辞

本日ここに、閉校式を挙げるにあたり、ご多用の中、小山市長様、市議会議長様、教育長様をはじめ、多数の皆様のご臨席を賜り、厚く御礼を申し上げます。またご列席をいただきました地域の皆様方、保護者の皆様方、本校ゆかりの方々にも心より御礼を申し上げます。

本校は、明治6年に勸善学舎として開校し、その後、学制改革や市町村合併により、幾度か校名を変え、現在に至っています。会場後方のパネルには、明治9年に、最初の卒業生に渡された卒業証書を展示しました。正門前のイチョウの木や体育館前のナツメの木とともに、本校の歴史を語るものです。

明治・大正・昭和・平成の4つの時代にわたり、3,000名近い有為な人材を世に輩出し、多くの卒業生は地元をはじめ全国各地で、また各方面において活躍をしています。

これまで卒業生によって築かれてきた福良小の歴史と伝統は「つよく 正しく 美しく」の校訓とともに、ここ「福良の地」において、永遠に語り継がれ、輝き続けるものと信じています。

年々、児童数が少なくなる中で、地域の皆様方々のご理解とご支援をいただきながら、子どもたちはしっかりと前を向いて、仲間と力を合わせ素晴らしい活躍を見せてくれました。そして、地域の行事に積極的に参加し、地域との絆を深めて参りました。

このたび閉校にあたり編集されました記念誌から、地域や保護者の皆様方の温かいご支援、そして教職員の教育に対する熱い思いと苦勞の跡を窺い知ることができます。如何にも多くの方々、福良小を愛し、支え、育んで下さったことかと、心より感謝申し上げます。

なお、4月から開校する絹義務教育学校では、学校施設、設備や教職員配置等に多大なるご配慮をいただき、おかげで、そのような中で、子どもたちは、9年制の小中一貫教育による充実した学校生活を送ることができると考えております。

最後になりましたが、今日まで、福良小を愛し、支えていただきましたすべての皆様方に、深甚なる敬意を表しますと共に、心から感謝を申し上げます。

平成29年2月19日

小山市立福良小学校第38代校長 中島利雄